



平成 28 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社省電舎  
代表者名 代表取締役社長 鶴澤 利雄  
(コード番号 1711 東証 第二部)  
問合せ先 取締役管理本部長 福本 裕士  
(TEL. 03-6821-0004)

## 平成 28 年 3 月期通期業績予想と実績の差異等（連結・個別）に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 18 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期通期の連結業績予想と実績及び平成 27 年 3 月期個別実績と平成 28 年 3 月期の個別実績について下記の通り差異が発生致しましたので、お知らせ致します。

### 記

#### 1. 連結業績予想と実績との差異について

##### (1)平成 28 年 3 月期通期 連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,700	50	45	43	23.34
実績値 (B)	2,142	57	71	57	31.28
増減額 (B-A)	△558	7	26	14	—
増減率 (%)	△20.7	14.0	57.8	32.6	34.0
(ご参考) 前期通期実績 (平成 27 年 3 月期)	2,638	△324	△357	△568	△318.25

##### (2)差異の発生理由

売上高の減少については、主に業績予想策定時に想定しておりました太陽光発電所建設案件 3 件 (売上合計 1,367 百万円、売上総利益 165 百万円) が中止または次期着工へと変更になったものの、より利益率の高い太陽光発電所分譲案件建設工事 3 件 (売上合計 690 百万円、売上総利益 209 百万円) を受注することができたことにより期初計画の売上金額は大きく下回ることとなりました。一方で、売上原価管理の徹底や売上総利益確保に重点を置いた案件精査により、期初計画と比較して売上総利益を確保し、利益率高い案件を成約することに注

力したことにより、期初計画通りの売上総利益を確保することができました。

同時に販売費及び一般管理費についても、経費見直しを推進することにより前年度より大幅な経費圧縮を実現し、営業利益についても期初計画を上回る結果となりました。また、平成28年2月8日に公表いたしました通り、当社子会社で請け負いました太陽光発電所建設工事について、発注主の事情により中止となった案件があり、当該案件の中止に至るまでの期間における子会社の業務に係る対価につき、発注主と合意したため営業外収益を計上しております。これにより経常利益、当期純利益ともに大幅に計画を上回る結果となりました。

## 2. 個別業績前期実績と当期実績との差異について

### (1) 平成28年3月期通期 前期通期実績と当期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期通期実績 (A)	716	△139	△169	△666	△373.51
実績値 (B)	122	△189	△93	△24	△13.16
増減額 (B-A)	△594	△50	76	642	—
増減率 (%)	△83.0	—	—	—	—

### (2) 差異の発生理由

売上高の減少については、当社グループが請け負う工事案件を全て子会社ドライ・イー株式会社に集約したためであります。

以上